

# ①学習課題（中学校1年生）



## 【国語】

### <内容>

○教科書の「『好きなもの』を紹介しよう」（P56～P59）を読んで、スピーチの仕方について、気付いたことや考えたことを家の人に伝えよう。（前週からの継続）

### <取り組み方>

① 前週③で作成したスピーチメモを見直し、聞き手にわかりやすいスピーチになるように構成を工夫しよう。

・見直し方の例

- ・聞いている人をひきつける「出だしの言葉」になっているかな？
- ・順序は分かりやすいかな？
- ・「強調したいこと」はどこで、それは効果的に伝わるかな？
- ・順序や構成をかえることで、さらに伝わる内容になる部分はないかな？

・見直した結果、修正の必要がなければ、そのままでもかまいません。

② スピーチの練習をしよう。

・工夫する点の例

- ・声の大きさや話す速さは適切かな？
- ・間の取り方や視線、表情、身振りをどのようにしたらよいか？
- ・1分間でスピーチが収まるように内容が整理されているかな？
- ・スピーチの様子を動画で撮影してみたり、音声を録音して聞いてみたり、家の人にスピーチを聞いてもらいアドバイスをもらったり、鏡をみながらスピーチしてみたりするのもよいかもしれませんね。

③ 家の人にスピーチをする上で工夫した点を伝え、スピーチ聞いてもらおう。

- ・スピーチ後にスピーチした感想を伝えてみよう。
- ・スピーチを聞いた感想を聞かせてもらうのもよいですね。

※①～③に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。

※③について、家の人に伝えるのが、どうしても難しい場合は、目の前に家の人がいると想像して、自分の考えを声に出して説明するというだけでもかまいません。

## 【社会】

### <内容>

#### 【4回連続で取り組む課題の最終回となります。】

なぜ、世界各地では人々の生活に様々な特色が見られるのでしょうか。また、なぜそれは<sup>へんよう</sup>変容するのでしょうか。取組シートやノートにまとめてみよう。

### <取り組み方>

- (1) これまで、世界各地で暮らす人々の様子をまとめました。それらの中で、近年、暮らしの様子が<sup>じれい</sup>変化した事例がいくつかありました。教科書 P26～35 の本文や写真資料を見ながら、暮らしの様子が<sup>へんよう</sup>変容した事例を、取組シートやノートに記述しましょう。また、なぜそのように変化したのか理由を考え、記述しましょう。
- (2) 前回の課題(3)の理由として、多くの方が気候などの自然環境に関する記述をしたと思います。しかしながら、それとは違う見方をすることで、世界各地に暮らす人々の生活に関して、異なった特色を挙げることができます。教科書 P38～39 に示されている「様々な宗教」に着目しながら、人々の暮らしを取組シートやノートに整理しましょう。
- (3) これまで4回に<sup>わた</sup>渡って取り組んできたことを踏まえ、「なぜ、世界各地では人々の生活に様々な特色が見られるのでしょうか。また、なぜそれは<sup>へんよう</sup>変容するのでしょうか。」について、自分の考えを取組シートやノートに記入しましょう。

### <学習のヒント>

- (2) 特に、「キリスト教」「イスラム教」「<sup>しんこう</sup>仏教」を信仰している人々の暮らしに着目しましょう。

## 【数学】

### <内容>

#### 文字式の表し方

#### ～積の表し方のきまりにしたがって表せるかな？～

### <取り組み方>

- ① 教科書 P65 のQの切手の枚数を、文字式で表してみよう。
- ② 教科書 P65 の問1をやってみよう。
- ③  $a \times a \times a \times a$  を同じ文字の積の表し方のきまりにしたがって表してみよう。
- ④ 教科書 P66 の問5をやってみよう。
- ⑤  $3 + a = 3a$  は正しいですか。正しくない場合はなぜ正しくないのか、理由を「取組シート」やノートに書いてみよう。（家の人に説明してもよいです。）

### <学習のヒント>

- ① 並んだ切手全体を1つの長方形と考えると、切手の枚数を求める方法は長方形の面積の求め方と同じだね。他にも、縦1枚、横 $a$ 枚並べた切手が3つ分あると考えることもできるね。
- ② 乗法の記号「 $\times$ 」を省略したり、数字と文字の順番に注意したりして、表してみよう。
- ③ 同じ数の積を表すときは、累乗の指数を使って表していたね。  
例えば、 $5 \times 5 \times 5 = 5^3$ となるね。文字の場合も同じように考えてみよう。
- ④ どこに乗法の記号「 $\times$ 」が省略されているかを考えてみよう。
- ⑤ 教科書 P65 の重要のところにかいてある“積の表し方”を参考にしよう。“+”は省略することができるかな。

## 【理科】

### <内容>

◆酸素、二酸化炭素の発生方法と気体の調べ方についてまとめてみよう。

### <取り組み方>

- ① 2つの気体が発生する薬品の組み合わせをそれぞれまとめましょう。
- ② 2つの気体をどのように調べたらよいか（何を使うのか、どのような変化があれば確かめることができるのか）、それぞれまとめましょう。
- ③ ②の調べ方は気体のどのような性質によるものなのか、それぞれ調べてみましょう。

### <学習のヒント>

- ① 教科書 P139 の実験 3 を参考にしましょう。
- ※ 上記以外にも、様々な方法があります。調べてみるのも良いでしょう。
- ③ 酸素と二酸化炭素、それぞれの性質については教科書 P140、142 を参考にしましょう。

## 【英語】

### <内容>

◆教科書 P28 の「単語・文の書き方」を読んで、次のことに取り組みましょう。

### <取り組み方>

① 教科書 P28 の①「単語の書き方」を読んで、英単語を書くときに気を付けなければならないことを考えて、「取組シート」または、「家にある英語のノート」に、次の単語を何度も書いてみましょう。

\* 以下の単語は、Program2①② (P24～P27) で出てきた、新出語句です。

- |                       |               |               |            |
|-----------------------|---------------|---------------|------------|
| ①basketball(バスケットボール) | ②baseball(野球) | ③soccer(サッカー) |            |
| ④student(生徒)          | ⑤fan(ファン)     | ⑥I(私は)        | ⑦you(あなたは) |
| ⑧goodbye(さよなら)        | ⑨new(新しい)     | ⑩too(～もまた)    |            |
| ⑪from(～から)            | ⑫Oh(まあ、おお、ああ) |               |            |

### 挑戦問題

② 教科書 P10・11 と P16・17 の単語の中から、書けるようにしたい単語を選んで、「取組シート」または、「家にある英語のノート」に練習してみましょう。

### 学習のヒント

■学習補助教材動画を配信しています。必要に応じてご活用ください。

[http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english\\_hojyo.html](http://www.city.sapporo.jp/kyoiku/shido/english_hojyo.html)



#### <配信内容>

**新着動画**→「一日の生活」「乗り物」「味」「衣類」「一日の時間・文房具」  
「名前の書き方」「アルファベットの大文字・小文字」「月」「序数(日付)」  
「食べ物」「スポーツ」「国」「色」「教科」「状態」「職業」「日常生活」など

### 学習補助動画を使ったおすすめの学習方法

\* 「聞く」学習のほかに、「話す」「書く」学習にもチャレンジしてみませんか？



- (工夫①) 日本語を聞いて、ALTの先生より先に英単語を言うことを目標にして何度も練習。  
(工夫②) 画面の絵の部分をかき、日本語のあとに英単語がすぐに言えることを目標に練習。



- (工夫③) 画面を見ないで、日本語、英語を聞き、ノートなどに単語を書いてみる。  
終わったら、画面を見て答え合わせをしましょう。

**【美術】** ※美術は、月に1度の課題となります。

**<内容>**

●「涼」という文字を、着彩したり、背景や模様、イラストなどを加えたりして、より「涼しさ」が伝わるように工夫してみましょう。

※文字のもつ意味や、そこから連想するものを考え、色彩・背景・模様などを工夫して魅力ある文字づくりに取り組みましょう。

（教科書34ページの、◆文字を集める、つくるを参考にしましょう。）



**<取り組み方>**

- 1 「涼」という文字から思いつくものを、たくさん挙げてみましょう。  
（涼から感じる色、連想する物や動物など…。絵でなく言葉でかまいません。）
- 2 思いついたものの中から、作品に“使いたいもの”をピックアップしましょう。
- 3 文字と、もの（絵）の組み合わせを考えましょう。  
（文字の背景に絵を描く、文字の中に模様をつける、一部を又は一辺を絵にする…などの方法が考えられます。）
- 4 いくつか試し描きをして、構図（どこに何をどのように描くか）を決めましょう。
- 5 別添のワークシートに下描きして、色鉛筆・ペンなど身近にある画材を使って着彩してみましょう。
- 6 作品ができあがったら、工夫したところや、努力したことを書きましょう。

動画の解説もあります。↓



※さらに取り組みたい人はこちらのチャレンジ課題に挑戦してみてください。

**<チャレンジ課題>**

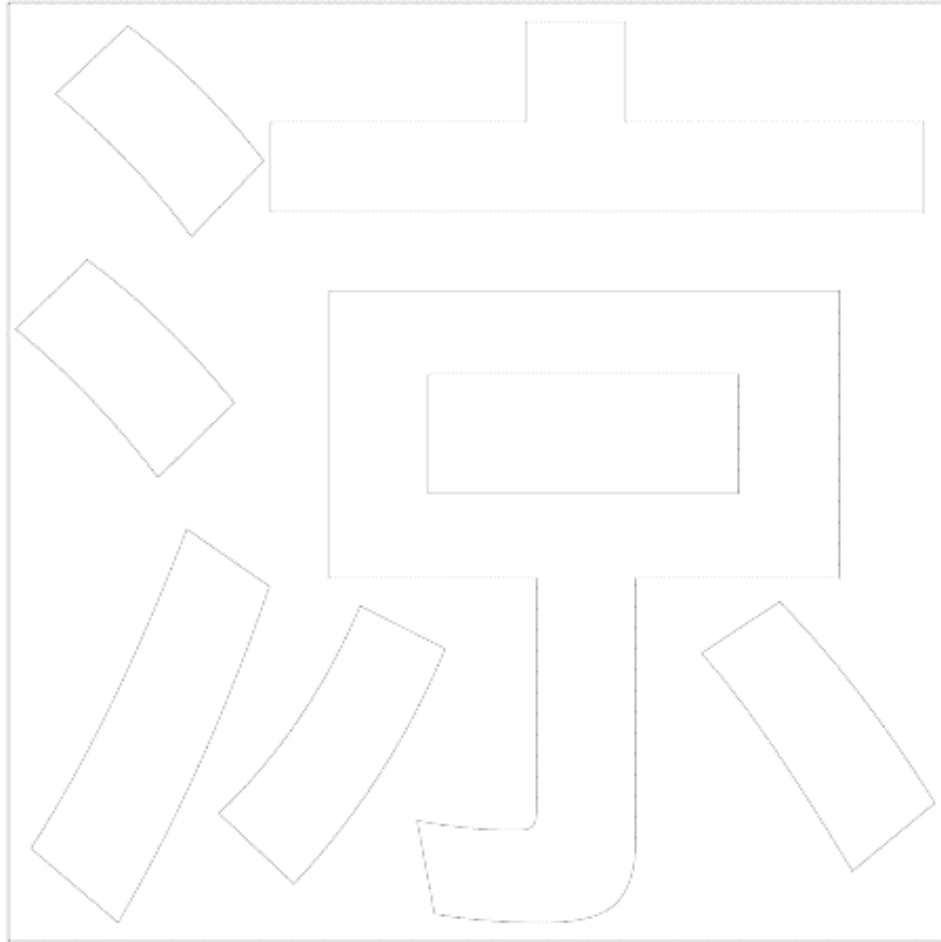
- A 私たちの身の回りには、たくさんのデザインされた文字があります。集めてみたり、書体について調べたりしてみましょう。  
（教科書5ページの、●文字も材料を参考にしましょう。）
- B 自分で好きな文字を選び、「涼」と同じ要領で魅力ある文字づくりに挑戦してみましょう。

**<学習のヒント>**

- ・文字の意味が、見る人に伝わるように、また、見る人が楽しい気持ちになるように工夫しましょう。
- ・試し描きは、ワークシートほど大きく描かなくてもかまいません。小さめに描いて、たくさん試してみましょう。色や形を少し変えるだけでも印象が違ってきますよ。
- ・チャレンジ課題の文字集めをするときは、似た形や、似た印象を受けるもの等で分けてみるとよいでしょう。集めた文字は、作品づくりの参考にもなります。

## 美術科・ワークシート 学習課題（中学校1年生）

- 「涼」という文字を、着彩したり、背景や模様、イラストなどを加えたりして、より「涼しさ」が伝わるように工夫してみましょう。



- 工夫したところや、努力したところを教えてください。

年	組	番
氏名		

動画の解説もあります



## 【 保健体育 】

＜内容＞「体づくり運動」でねらいの異なる4つの運動に取り組んだことを基にして運動の計画を作成し、実践してみよう。

### ＜取り組み方＞

動画 URL <https://youtu.be/GhXGFz43sl0>

動画とイラストを参考にどんな運動があったか思い出してみよう。

#### ①【体の柔らかさ】〈5月18～22日〉

どの部位を解緊しているのかを意識しながら、可動範囲を徐々に広げるような、負荷の少ない動的な運動から始めよう。

体の各部位を前もって緊張したり、意識的に解緊したりして、可動範囲を広げよう。

リズミカルに曲げ伸ばし

ゆっくり10秒キープ

柔らかさ

#### ②【巧みな動き】〈5月25日～29日〉

ゆっくりした動きから素早い動き、小さいから大きい、弱いから強い、易しい動きから難しい動きへと発展させよう。

動きに対応してタイミングよく動く、バランスをとる、リズミカルに動く、力を調節して素早く動く能力を高めよう。

様々な動作

様々な用具

様々な空間

巧み

#### ③【力強い動き】〈6月1日～5日〉

繰り返すことのできる最大の回数などを手がかりに、無理のない運動の強度と反復回数を選んで行おう。

自己の体重や抵抗を負荷として、それらを動かしたり移動させたりして、力強い動きを高めよう。

重い物で

二人組で

自体重で

力強い

#### ④【動きを持続する能力】〈6月8日～12日〉

心拍数や疲労感などを手がかりにして、無理のない運動の強度と時間を選んで行うようにしよう。

1つ又は複数の運動を一定の時間連続して行ったり、回数を反復したりして、動きを持続する能力を高めよう。

1つの種目で

複数の種目で

持続

⑤自分なりに効率よく行う運動やバランスよく高める運動の組み合わせ方を見付けよう。

■①～④の中から2つを選び、具体的な運動を書こう ■運動後に実感した効果を考えてみよう

<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div> <div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; margin-bottom: 5px;"></div>
---	---

### ＜学習のヒント＞

■日常生活の中にも体を動かす機会を考えてみましょう。

■室内で行う場合も安全に留意して行いましょう。